

医療的ケア児者の避難訓練

～地域のみなさまといっしょに～



千葉県内各自治体において、医療的ケアのあるこどもや大人が、地域の方々と共に避難訓練を行っているところがあります。

大地震で家が損壊したり、停電が長引いたりして家で過ごすことが難しくなった時、医療的ケアのあるこどもや大人を連れて、家族のみで避難することは難しく、まわりの方々の助けが必要です。

まず、酸素ボンベや吸引器といった医療機器をはじめ、ケアに必要な多くの医療物資は替えが利かないものも多く3～7日分は持ち運ばなければなりません。

本人の移動も、頑丈な車いすは重く、さらに人工呼吸器や蓄電池が搭載されていると60kgを超えることも。少しの段差も越えるのは大変です⇒



自治会のリヤカーを借りて運搬↓



参加者の声

避難訓練を通じて多くの方に我が子のことを知ってもらえたので、避難することに前向きになれた。
(当事者お母様より)

事前準備とシュミレーションの大切さを再認識した。自治会でできることをこれからも準備していく。
(自治会の方より)

避難するときにどんな助けが必要で、自治会や関係機関はどんなことを助けられるかわかってよかった。
(相談支援専門員より)

医療的ケア児者が災害時でも安心した避難ができるよう、各自治体で個別避難計画の作成を進めています。



発行：千葉県医療的ケア家族会リーフ
Mail chibaikea.leaf@gmail.com

協力：千葉県医療的ケア児等支援センターぽらりす
Mail polaris@chiba-reha.jp



リーフHP